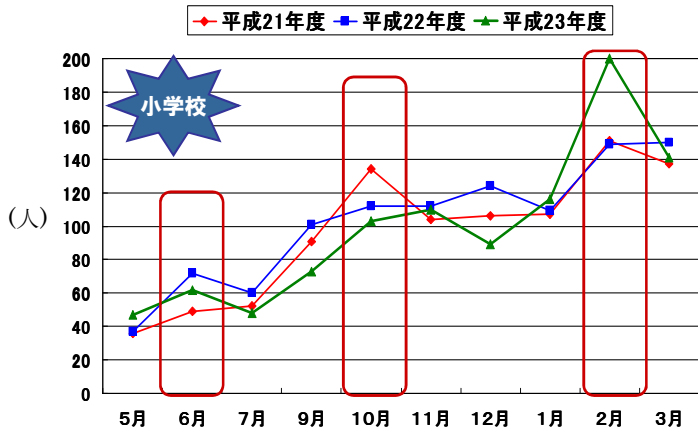


6月の取り組みで高知市が変わる！

～学力向上・生徒指導・不登校対応強調月間～

10日以上欠席児童数の前月比増加数の推移



左の2つのグラフは10日以上欠席児童生徒数が前の月に比べてどれ位増えているかを示したものです。小中ともに欠席者数が6月に増加することが分かります。

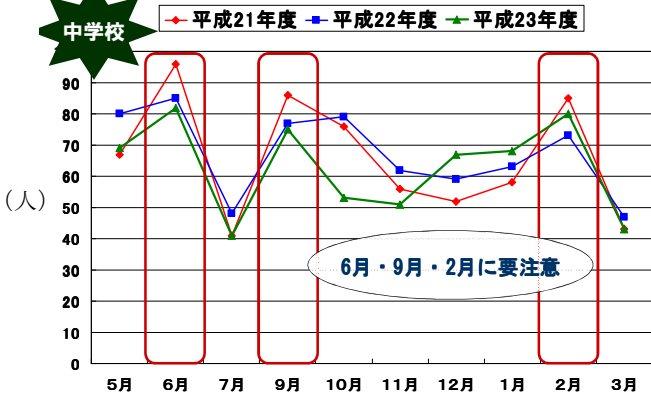
また補導センターの街頭補導者数の増加やパワーアップシートの提出率が落ち込むなど、生徒指導や学力面が気になるのもこの時期です。

なぜこのような状況になるのでしょうか？この時期にどんな対応をすればこれらの状況を回避できるのでしょうか？

なぜ6月？



10日以上欠席生徒数の前月比増加数の推移



考えられるのは

- ・ 4月からのがんばりや緊張感から疲れてきた。
 - ・ 中間テストや運動会がおわり、目標がなくなる。
 - ・ 仲間や先生としっかりした信頼関係ができずに、孤立したり無気力になったりしてきた。
 - ・ 学習面で分からないまま過ごしてきて、自信がなくなってきた。
- など

「よろず相談」拡大月間

授業について

特別な支援が必要な子どもについて

不登校の子どもについて

学級経営について

教育研究所では教職員の皆さんが、日頃悩んでいることなどを相談できる場として昨年度から月1回第3水曜日に「よろず相談」を行っています。

6月はこれを毎週実施します。悩みの解消や解決の糸口になればと考えていますので、一人で悩まずお気軽にお越しください。(事前の予約をお願いします。)

開催日：毎週水曜日 18:00～20:00

(6/13, 6/20, 6/27)





取り組みプランの紹介



★ 個人面談の実施

目的
方法

「先生に自分のことをわかってもらえた。」という安心感をもたせる。
放課後や昼休み・昼食時間などに1人5分程度時間をとり、Q-Uやあったかアンケート、中間テストの結果などをもとに子どもの話を聞く。

- 【例】・ 学校生活で楽しいことや不安に感じていること
- ・ 今がんばっていることや夢中になっていること
 - ・ Q-Uの結果で気になる項目

ポイント

教師からの指導や指示ではなく、あくまでも子どもの話を聴くこと
助言や指導的な発言にならないよう注意！



★ 行事の実施

目的

日頃の決まった友だち関係を少し広げて、学級の仲間とのコミュニケーションを図る。

- 【例】○ 映画デー： ゆったりとした雰囲気映画を鑑賞し、その後仲間と感想などを話し合う。
- オリエンテーリング： 意図的に関わりを持たせ、仲間と協力し団結できるように

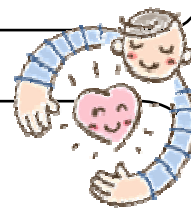
★ 集会活動

目的
方法

学年やクラスの団結、協力することの大切さを感じさせる。
クラス対抗でできるものを設定する。

ポイント

- 【例】バースデーチェーン、大声大会、ボール運び、大縄大会、人間知恵の輪
- ・ できるだけ簡単で単純なものにする
 - ・ 他のクラスと競い合い、仲間と協力して頑張れたという達成感が味わえる内容にする。
 - ・ だらだらとしないように、楽しい雰囲気メリハリをつける。



★ ピアサポート的活動

目的
○ 本の読み聞かせ

貢献する喜びや、学年の人間関係をつくる。

方法

- ・ 読み聞かせを行うクラスと時間割を決めて実施する。
- 実施時間：朝学活の時間・給食の待ち時間・学年集会など

ポイント

- ・ 読み聞かせの時のマナー（決まりごと）を決めておく。
- ・ 読み聞かせをする作品は子どもと一緒に選ぶ。（聞きてのことを考える）。

○ 遊びのピアサポート

方法

- ・ 上学年のクラスで遊びを考え、下学年のクラスに誘いに行く。
- ・ サポート期間を決め、その期間の長休みや昼休みに行く。

ポイント

- ・ 遊びの中に人間関係づくりプログラムなども取り入れ、協力して楽しく遊べる関係づくりをする。

